

地域別総合防災研修 平成30年度 青森県会場

【各講義の内容と学習目標】

日程	時間	単元	講師	手法	単元の概要	学習目標
7月23日(月)	1・2限目 9:30~12:15 (うち休憩15分)	防災行政	小林 達徳 (内閣府 地方・訓練担当)	座	(全体概要) 防災活動の全体像とその考え方、各活動の概要を学ぶ。	・ 防災活動の全体像と考え方、各活動の概要を説明できる。
			矢田 貴宏 (内閣府 総括担当)		(災害法体系) 防災活動の前提となる法律の基本的な知識を学ぶ。	・ 防災活動に関連する法令の概要を説明できる。
			中沢 優也 (内閣府 防災計画担当)		(防災計画) 防災活動の前提となる防災計画の基本的な知識を学ぶ。	・ 防災計画(BCPと受援体制を含む)の概要について説明できる。
	3限目 13:15~14:30	地域の災害特性	小田嶋 孝一 (気象庁 仙台管区气象台)	座	地域の災害特性、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	・ 地域の災害特性と想定される被害の概要について説明できる。
4・5限目 14:45~17:30 (うち休憩15分)	災害対応過程と態度を学ぶ	元谷 豊 (株)サイエンスクラフト)	演	実際の災害発生時の地方公共団体の対応事例を題材に、事前対策や災害対応に対する心構えを学ぶ。	・ 災害発生前後に、必要な行政の対応の流れを、具体的に説明できる。	
7月24日(火)	1限目 9:30~10:45	警報避難の枠組み	奥山 聡俊志 (内閣府 調査・企画担当)	座	避難勧告判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難勧告等に関するガイドライン」を中心に学ぶ。	・ 警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
	2限目 11:00~12:15	被災者支援の枠組み	小林 達徳 (内閣府 地方・訓練担当)	座	被災者支援対策の基本となる災害救助法や被災者生活再建支援法、罹災証明書の交付の考え方とその適用基準・運用方法について学ぶ。	・ 災害救助法及び被災者生活再建支援法の概要を説明できる。
	3限目 13:15~14:30	交通確保・物資物流 広域応援の枠組み	松永 正大 (元 全国物流ネットワーク協会)	座	災害時の交通確保と物資物流、広域応援対策の流れと、そのための事前対策について、事例とともに学ぶ。	・ 交通確保と物資物流の概要を説明できる。 ・ 広域応援の実施の流れについて説明できる。
	4限目 14:45~16:00	自助・共助の取り組み促進	山口 徳彦 (内閣府 普及啓発・連携担当)	座	住民等による自助・共助の取組の促進について、地区防災計画やボランティアなど様々な手法を学ぶ。	・ 自助、共助の取組み(ボランティアやNPOへの対応を含む)を説明できる。
	5限目 16:15~17:30	全体討論・閉講	毛勝 敏樹 (人と防災未来センター)	演	研修全体を通じて学んだことを、地域の防災力向上にどう反映させるかを受講者自らふり返り考える。	・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。